

日本列島の境目のまち いといがわ



反対側の文字とあわせてみて

糸魚川ー静岡

約2億7000万年前の岩石

日本列島を東と西に分ける境目となる大断層「糸魚川ー静岡構造線」が通るまち糸魚川。そこには日本列島誕生のドラマがありました。また、人々の暮らしや文化の境目でもあり、断層沿いにできた街道によって多くの文化や物が集まり、交流が生まれた場所でもあります。さあ、大地を体感する旅にでかけてみよう！

●糸魚川ー静岡構造線の断層(フォッサマグナパーク)

新潟県糸魚川市
糸魚川ユネスコ世界ジオパーク

どうして境目があるの？

大地の境目「糸魚川ー静岡構造線」ができた秘密には、日本列島が誕生した物語が深く関わっています。

日本列島と境目誕生の物語

約46億年前 地球の誕生

糸魚川ー静岡構造線

約2000万年前



今から2000万年ほど前、まだ日本列島がアジア大陸の一部だった時代に、大陸の縁で火山活動が起こりました。

約1600万年前



やがて、日本列島はアジア大陸から引き離されました。日本列島は折れ曲がり、大きな裂け目(フォッサマグナ)ができました。裂け目には海が入り込みました。

約300万年前



フォッサマグナは、日本海と太平洋をつなぐ海峡でした。その海峡が、土砂や海底火山の噴出物で長い時間をかけて少しずつ埋め立てられていきました。

現在



その後、プレートのはたらきによって大地が盛り上がり、日本列島は現在の姿になりました。糸魚川ー静岡構造線は、フォッサマグナの西側の断層です。



糸魚川ー静岡構造線をおよその境にして、東日本と西日本の暮らしや文化に違いがみられます。

糸魚川

東日本

西日本

境目のおかげ その①

豊かの幸
海の幸



漁場が近いことが新鮮な魚介類の秘密

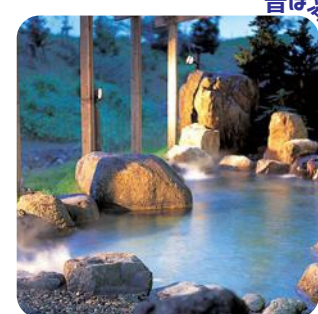


フォッサマグナは海の中まで続いています。糸魚川の海は、陸に近いところから急に深くなっていて、深海にすむ魚介類を新鮮なまま味わうことができます。その代表が南蛮エビ(甘エビ)、アンコウ、ベニズワイガニなどです。

境目のおかげ
その②

温泉

糸魚川には個性豊かな9つの温泉があります。糸魚川ー静岡構造線の近くにある糸魚川温泉は、フォッサマグナの地層にあるかつての海水が含まれて、湧き出ていると考えられています。



フォッサマグナパークからほど近い糸魚川温泉

境目のおかげ
その③

塩の道

昔の人々は、断層に沿うならかな低地をつないで道として利用していました。糸魚川ー静岡構造線沿いには、「塩の道(松本街道)」と呼ばれる糸魚川と長野県松本市を結ぶ街道があります。



一部が国の史跡にもなっている「塩の道」

日本列島の境目やフォッサマグナが海だった証拠が見られる！ フォッサマグナパーク

フォッサマグナの西側の断層「糸魚川ー静岡構造線」を見学してみよう！駐車場から断層まで続く遊歩道では、断層にまつわるエピソードが紹介されているよ。



昔は海だった証拠「枕状溶岩」



●アクセス



●お問い合わせ

糸魚川ジオパーク協議会

(糸魚川市商工観光課ジオパーク推進室内)

〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1-2-5

TEL.025-552-1511 ☞geopark@city.itoigawa.lg.jp



ヒスイのふるさと いといがわ

メイド・イン糸魚川のヒスイヒストリー



ヒスイ製ハンマー(敲石)
ー約6,500年前ー



長者ヶ原遺跡から出土したヒスイ製大珠
ー約5,000年前ー



寺地遺跡から出土したヒスイ製玉類
ー約3,000年前ー



笛吹田遺跡から出土したヒスイ製勾玉末製品
ー約1,700年前ー

糸魚川は、国内随一のヒスイ産地です。
そして約6,500年前にその利用がはじまった
“世界最古級のヒスイ文化発祥の地”です。
その昔、糸魚川のヒスイは日本各地に運ばれ、
さまざまな形の玉となり、利用されていました。
今なお、糸魚川の伝統的な工芸品として
大切にされています。

新潟県糸魚川市
糸魚川ユネスコ世界ジオパーク

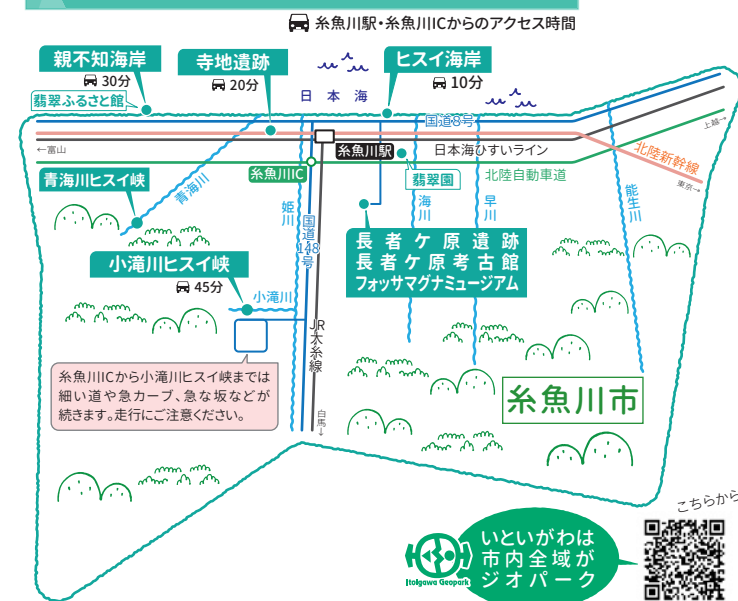
ヒスイと人の歴史

約5億年前に地球に誕生したヒスイ。糸魚川の地で
人と出会い、ヒスイを使った文化が生まれました。

- 約46億年前 ● 地球の誕生
- 約5億年前 ● 糸魚川のヒスイの誕生 詳しくは
右下の図で
- 約6,500年前 (縄文時代 前期) ● 人とヒスイの最初の出会
糸魚川でヒスイの利用がはじまる
ヒスイをハンマー(敲石<たたきいし>)として利用しました。
- 約5,000年前 (縄文時代 中期) ● ヒスイの加工が盛んになる
長者ヶ原遺跡で大量のヒスイが利用される
磨製石斧を作るための敲石ほか、
ヒスイの玉(たま/大珠<たいしゅ>)が
作られ、東北日本を中心に
全国に運ばれていました。
- 約3,000年前 (縄文時代 晩期) ● ヒスイの加工技術が高度化
寺地遺跡で小型の玉(丸玉・勾玉<まがたま>)が作られる
よりサイズの小さいヒスイの加工品のほか、
スギ材をくり抜いて作った丸木舟も
見つか、舟でヒスイを運搬していた
ことがうかがえます。
- 約1,700年前 (古墳時代) ● ヒスイの加工が続く
笛吹田遺跡から加工途中のヒスイの勾玉などが見つか
糸魚川で作られたヒスイの加工品は全国に運ばれていたため、
糸魚川では加工の途中のものなどが多く見つかっています。
- 西暦750年頃 (奈良時代) ● この頃、日本の歴史からヒスイが消える
この時代以降の遺跡からは、ヒスイ加工場の跡や加工品は
見つかっていません。
- 1938年 ● 小滝川でヒスイが発見される
歴史から忘れ去られていたヒスイが
糸魚川の山あいで見発見されました。
- 1955年 ● 青海川でヒスイが発見される こたさがわ
青海川ヒスイ峡
国指定天然記念物
- 1956年 ● 小滝川ヒスイ峡が国の天然記念物に指定される
- 1957年 ● 青海川ヒスイ峡が国の天然記念物に指定される
- 2008年 ● ヒスイが糸魚川市の石に指定される
- 2016年 ● ヒスイが国の石に選定される(日本鉱物科学会)
- 2022年 ● ヒスイが新潟県の石に指定される
- XXXX年 ● ヒスイを活用した取り組みが盛んになり、
人とヒスイの共生がさらにすすむ



糸魚川ユネスコ世界ジオパーク ヒスイのふるさとマップ



長者ヶ原考古館



世界最古級の
ヒスイ文化の
魅力と奥深さを
体感できます。

長者ヶ原考古館
住所: 糸魚川市ノ宮1383
電話: 025-553-1900

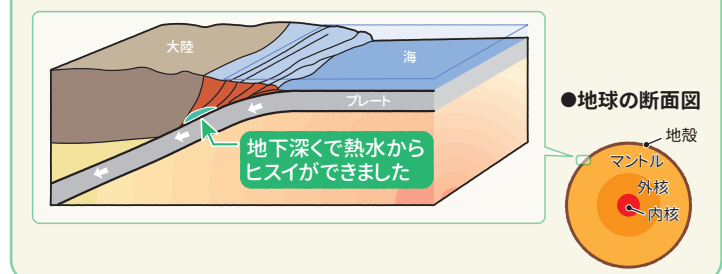
フォッサマグナミュージアム

ヒスイと鉱物や化石の展示が充実。
日本列島の成り立ちがわかる映像は必見です。



フォッサマグナミュージアム
住所: 糸魚川市ノ宮1313
電話: 025-553-1880

ヒスイが生まれた場所



これからも糸魚川のヒスイや石を大切に

糸魚川ではヒスイをはじめ、さまざまな種類の石が
あります。一つひとつに地球の長い歴史が秘められ、
今、私たちが目にすることができます。
これから、何十年、何百年、何千年と受け継ぐため、
私たちも目の前の石を大切にしていきましょう！



いろいろな色のヒスイ



山の中のヒスイ峡から川を流れて、海岸に打ち上げられます。

小滝川ヒスイ峡
展望台からの眺め

ヒスイ海岸